

第6節 施策の方向性

1 国の「総合戦略」における4つの基本目標、政策5原則

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、以下の4つの基本目標を設定し、地方におけるさまざまな政策による効果を集約し、人口減少に歯止めをかけ、「東京一極集中」の是正を着実に進めていくこととしています。

<基本目標>

- ① 地方における安定した雇用を創出する
- ② 地方への新しい人の流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。

また、人口減少の克服と羽村市の地方創生を推進するため、国の総合戦略に盛り込まれた「まち・ひと・しごと創生」5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）の趣旨を尊重し、各施策を展開していきます。

2 羽村市の施策の方向性

羽村市の既存の中心的価値は、「自然が豊かでありながら、住む場所と働く場所が近接している」、「地域の中で子どもたちが育ち、人と人とのつながりがある」、「暮らしやすさがちょうど良い」、「何でも身近に手が届く」ということであり、これらをさらに強化していくことに取り組んでいきます。

若者や子育て世代が魅力と感じ、羽村市に住み続け、子育てをしたいと思う環境を実現するため、今後の取組においては、次の4つの施策の方向性に沿って施策を展開していきます。

【1 若者が流出している「人の流れ」を変え、人口流出を抑制する】

若い世代が市外へ流出している現状を踏まえ、流出の抑制に努めるとともに、流入を生み出していくことを目指し、施策を展開していきます。

施策の展開にあたっては、若者が魅力と感じ、市内での交流と市内への定住が促進されるよう取り組んでいきます。

【国の目標との関係】

⇒ 国の目標 ④

時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。

【2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、出生者数の増加につなげる】

若い世代が定住し、安心して子どもを産み育てられる環境を整えていくため、子育て世帯の居場所づくりや相談体制の強化、地域住民が一緒になって子育て世帯を応援するなど、羽村市での子育てが魅力あるものとして創生されるよう、取り組んでいきます。

また、子育て世帯が、自らの生活にゆとりと豊かさを感じながら自然体で子育てができるよう、生涯学習の街としての、趣味や特技を活かすことができる付加価値を生み出します。

【国の目標との関係】

⇒ 国の目標 ③

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【3 中心市街地の活性化のため、「選択と集中」の考えを徹底し、投資と施策を集中することで地域に活力を生み出す】

羽村市はこれまで都市基盤整備に基づく、自然環境と都市機能の調和した職住近接の街づくりを進めてきた特色を生かし、今後、さらに魅力ある街として多くの若者を呼び込み、活気ある街として発展していくため、「選択と集中」の観点で中心市街地の活性化と若者の雇用、起業・創業の促進に取り組みます。

【国の目標との関係】

⇒ 国の目標 ①

地方における安定した雇用を創出する

【4 羽村市の魅力を効果的に発信することで認知度を向上させ、来訪者の増加につなげる】

交流人口・定住人口を増加させるには、まずは、ターゲットが羽村市の魅力を認識する必要があり、羽村市の魅力である、暮らしやすさや子育てのしやすさ、本計画で取り組む施策や事業などを効果的・積極的に発信する、広報戦略に取り組んでいき、来街者の増加につなげていきます。

【国の目標との関係】

⇒ 国の目標 ②

地方への新しい人の流れをつくる